

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

待ちに待った！敬老会！

私達職員は日頃からご利用者様の笑顔に元気もらい、また人生の大先輩から様々なお話を聞く機会に恵まれる中、人生について沢山の事を学んでいます。そんな皆様のご長寿の祝いをしたいと考え職員の余興芸の髭ダンスを披露しました。練習不足のダンスとはなりましたが皆さん大笑い！アンコールが起こるほどの盛り上がりになりました。そして職員からのメッセージカード付きのプレゼントをお一人一人に感謝の言葉を述べながらお渡ししたところ、利用者様の中には感涙される方もありました。昼食は栗赤飯、茶碗蒸しなどの祝い膳を用意しましたが「豪華だね」「お店に来たみたい」「家では中々作らないものばかりで嬉しい」などの声を頂きました。午後からは地元の菓子処「清月」さんの秋の和菓子とお抹茶を堪能され最後には逆に皆様から「ありがとうね」「来年も参加出来るように頑張っていくといけん、いい目標が出来たわ」「良い会を開いてくれてありがとう」「来年も髭ダンス楽しみにしてるよ」などの温かい言葉を頂きました。



利用者様にお茶をたてて頂き優雅な時間を過ごしました。



満面の笑顔
プレゼント



8月の作品はがいな祭りの花火をイメージし、照陽の家でも花火製作をしました。折り紙で輪繋ぎを作り夜空に打ち上げました。9月の作品は秋の田園風景。案山子(かかし)を職員と共に作りました。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



スタッフ紹介



ケアマネジャーの奥田 芳枝と申します。2017年に都内からUターンし、縁あってケアサービス米子本社の居宅(ケアマネジャー)部門に入職、照陽の家には2020年12月に異動して参りました。通い・訪問・泊りサービスを組合せ介護士と看護師が連携してケアを提供する「看護小規模多機能型居宅介護」の利用計画を、利用者様とご家族様の状況に応じて作成するのが照陽の家ケアマネジャーの役割です。利用登録者は上限29人、一日の通いは18人まで、泊りは6人までという介護保険上の決まりがあり、また、一日に稼働可能な職員で安全に対応できることが重要ですので、個々の利用者様の生活に支障がなく全体としてバランスが取れているように調整するのは予想した以上に難しい業務でした。続けて来られたのは、一般の居宅のケアマネジャーに比べて利用者様と直接会える回数や時間が圧倒的に多いことが大きく影響しているように思います。

通いサービスを利用されない方はいらっしゃる一方で、毎週必ず全員の利用者様とお目にかかってコミュニケーションをとることが出来ます。様々な場面での表情や言葉、仕草に直接触れる中で学ぶことが沢山あります。現場のスタッフとの距離が近く今起きている課題を現在進行形で相談できる看護小規模多機能のメリットを活かして、お一人おひとりの利用者様とご家族様に寄り添えるよう精進したいと思います。